

# 災害精神支援学講演会

## NBC災害への医療対応：実践的アプローチ

文明の発達とともに、近年、病院は思いもよらぬ人為災害に対応しなければならないことがある。NBC (Nuclear, Biological, Chemical) 災害と呼ばれるこうした一連の災害は、テロのみならず人為災害や自然災害、あるいはその複合災害でも起こりうる。日本でも松本サリン事件、地下鉄サリン事件、東海村臨界事故、SARS、新型インフルエンザ、福島第一原発事故など事例は多い。災害への医療対応ではCSCATTT：指揮・統制 (Command & control)、安全 (Safety)、情報伝達 (Communication)、評価 (Assessment)、トリアージ (Triage)、治療 (Treatment)、搬送 (Transport) が基本とされるが、よりスムーズな医療を提供するにはプレホスピタルから病院まで一貫した認識が必要である。特に、NBC対応においては基本的なNBCに関する知識のみならず、安全と情報伝達が重要である。地下鉄サリン事件、成田の空港検疫、福島第一原発事故の経験とその他の過去の事例をとおして、病院のNBC対応の基本を述べる。

日時：平成25年1月23日 (木)  
18時～20時

場所：イノベーション棟8階講堂

対象：筑波大学教職員、学生、  
その他医療関係者



講師略歴 徳野慎一 (とくのしんいち) 先生

現職：陸上自衛隊・衛生学校・主任教官 兼 防衛医科大学  
校・防衛医学講座・講師 (2等陸佐)

災害関係資格：英国災害医療専門認定 (DMCC: Diploma  
in the Medical Care of Catastrophes)、MIMMS/  
HMIMMS インストラクター、BDLS/ADLSイン  
ストラクター

問い合わせ：筑波大学災害精神支援学 (TEL 029-853-3057)